わたしの避難カード 【避難のタイミング、避難方法の確認】

ハザードマップを確認して、次の1～6に記入し「わたしの避難カード」を作りましょう！

1 いつ？（避難のタイミング等）

行動のタイミング

【自分のタイミング】例:警戒レベル3など

【要配慮者への声かけ】
例:隣の一人暮らしのおばあさん(85歳)など

2 どのように？（避難方法、避難場所等）

避難方法

【避難の人数】○をつけましょう

ひとりで ／ 家族と ／ 近所の人と

【避難の手段】例:歩いて避難など

4 防災情報の入手

【情報提供】 例:テレビ、インターネットなど

【地域の状況】例:防災無線など

3 避難場所

【第1候補】○○小学校など

【第2候補】※上記へ避難が困難な場合

緊急連絡所一覧

施設区分	名 称	電話番号
役場	神河町役場 本庁舎	0790-34-0001
	神河町役場 神崎支庁舎	0790-32-1222
消防	姫路市中播消防署	0790-23-0119
	姫路市中播消防署北部出張所	0790-28-0119
ヘリポート	町民グラウンド	0790-34-0212
	グリーンエコー笠形野球場	0790-32-1307
	神河町ふるさと広場	0790-34-0001
	長谷小学校グラウンド	0790-35-0012

施設区分	名 称	電話番号
警察署駐在所	福崎警察署	0790-23-0110
	寺前駐在所	0790-34-0126
	上小田駐在所	0790-34-1531
	長谷駐在所	0790-35-0013
	越知谷駐在所	0790-33-0303
	粟賀交番 ※1	0790-23-0110
医療機関	公立神崎総合病院	0790-32-1331
	立岩医院	0790-34-0033
	山本医院	0790-31-3200

※1 粟賀交番の電話は福崎警察署から交換を通じておかけください。

WEB版 神河町ハザードマップ

WEB版 神河町ハザードマップは、 WEB上の地図で防災情報を閲覧できるよう作成したものです。
WEB版 神河町ハザードマップなら、紙面ではできない地図の拡大・縮小や住所検索、避難所の検索や、自宅周辺だけのオリジナル防災マップの印刷も可能です。

WEB版 神河町ハザードマップ
https://arcg.is/uDXnK0

令和3年 神河町

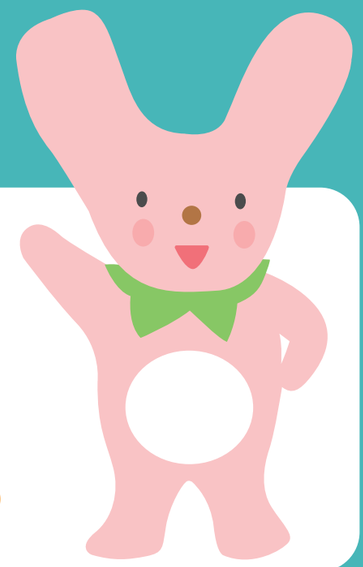
神河町ハザードマップ

保存版

災害はいつ起こるかわかりません。もしものとき、家族や自身の身を守るためにも日ごろから避難経路を確認したり、非常持出袋を準備しておきましょう。

もくじ

防災ガイドについて/日頃からの備え …… P1
非常時の備え …… P2
水害・土砂災害対策 …… P3～P4
避難のポイント …… P5
降雨による土砂災害から身を守る …… P6
地震対策 …… P7
情報と行動の目安 …… P8
避難場所一覧 …… P9～P10
わたしの避難カード …… P11

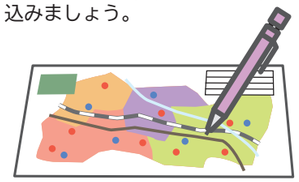


防災ガイドについて

「神河町ハザードマップ」は、町民の皆さんに町で想定される災害を知っていただき、
「わたしの避難カード」を作り、少しでも災害による被害を軽減することを目的に作成しています。
災害から身を守るためにはどうすればよいか、このハザードマップでご確認いただき、対策を考え、
実際に出来ることから取り組んでください。

①家の位置を確認しましょう

あなたの家の場所をマップに書き込みましょう。



②家の周りの災害の危険性を確認しましょう

あなたの家は浸水が想定されている区域ですか？土砂災害の警戒が必要な区域ですか？

③避難場所を確認しましょう

最寄りの避難場所や次に近い避難場所までの距離を確認しましょう。

④避難経路を考えてみましょう

災害の恐れがある道路を避け、安全な避難経路を考えましょう。

⑤災害や避難について、話し合ってみましょう

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などについても避難場所や危険性を確認しましょう。

⑥「わたしの避難カード」を作りましょう(→P11)

災害が発生する前に「わたしの避難カード」を作り、スムーズに避難ができるように備えましょう。

日頃からの備え

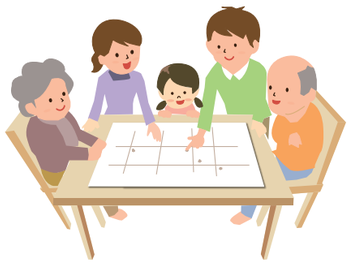
わたしの避難カードの作成

非常持出袋に入れていつでも持ち出せるように準備を！
(→P2)

非常持出品

ハザードマップの再確認

日頃から家族で災害が発生したらどうするか話をするなど、防災意識を高めましょう。



●一か所だけでなく複数候補を決めましょう。
(→P9、P10)

避難所の確認

災害用伝言ダイヤル 171

災害が発生すると、電話がつながりにくくなるので、災害用伝言ダイヤル（171）を利用しましょう。ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生してください。

171 をダイヤルする

- 録音するときは 1 → 自分の電話番号を市外局番からダイヤルする → 録音する
- 再生するときは 2 → 相手の電話番号を市外局番からダイヤルする → 再生する

非常時の備え

避難時にすぐ持ち出すべき「非常持出品」と物流が届くまで生活するための「非常備蓄品」の2つの段階で準備をしておくことが必要です。
リストを参考に、個人や家庭で必要なものをしっかり準備しておきましょう。

非常持出品

被災・非常時にまず持ち出し、最初の一日をしのぐための荷物です。できるだけコンパクトにまとめてリュックなど両手が空くように持てるカバンに入れ、玄関など場所を決めて置きましょう。

道具類

懐中電灯は一人に一つあるほうがよい。

- □ 携帯ラジオ
- □ 電池（多めに用意）
- □ 懐中電灯
- □ 携帯電話・充電器 モバイルバッテリー

非常食品

火を使わずに食べられるものを用意する。

- □ 缶詰
- □ レトルト食品
- □ 非常用食品
- □ 飲料水

救急医療品

ビタミン剤など薬以外の常用する物も準備。

- □マスク
- □ 常備薬
- □ 消毒液・傷薬
- □ 絆創膏
- □ お薬手帳

生活用品

可能な限り自分の持ち物で過ごせるように。

- □ 毛布・寝袋
- □ 缶切り・ナイフ
- □ 携帯トイレ
- □ ビニール袋
- □ちり紙
- □ タオル
- □ 石けん
- □ 歯ブラシ
- □長袖・長ズボン
- □ 下着・靴下
- □ 雨具

貴重品

- □ 現金
- □ 預金通帳・印鑑
- □ 免許証・健康保険証等

荷物のめやす

無理なく背負える量にしましょう。

男性 15 kg

女性 10 kg

子どもや高齢者 6 kg

年齢や家族構成、家庭の事情に合わせて準備しておくもの（高齢者・乳幼児・女性用品）

- □ メガネ・コンタクト用品
- □ 補聴器
- □ 入れ歯・洗浄剤
- □ 粉ミルク
- □ 離乳食
- □ 紙おむつ・おしりふき
- □ 生理用品
- □ 鏡・ブラシ
- □化粧品
- □ガーゼ・バスタオル
- □ 母子手帳
- □ おんぶ紐
- □ 乳幼児用衣類

非常備蓄品

災害発生後、様々なライフラインが止まることがあります。
家族が最低３日間は生活できるように備蓄しましょう。

非常食品　安全を確認した自宅での生活や避難所に持ち出せるものを備蓄

- □ 飲用水（１人１日 3ℓを目安に３日分）
- □ レトルト食品、缶詰、カップラーメン等
- □ お米（無洗米、アルファ化米）
- □ 栄養補助食品
- □ アメ、ビスケット等のお菓子
- □ 調味料
- □ インスタントみそ汁、スープ

生活用品　ライフラインが戻らない自宅や避難先での生活のために準備

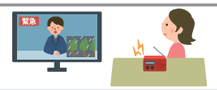
- □ 生活用水（湯舟や洗濯機にためておく）
- □ バケツ、たらい、桶
- □ タオル類、毛布、寝袋
- □ 洗面用具、水のいらないシャンプーなど
- □ 衣類、下着等
- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ、固形燃料
- □ 調理道具（鍋、やかん、包丁など）

非常持出品と非常備蓄品の定期点検

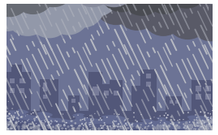
家庭での備蓄方法として、レトルト食品など普段でも食べられ、消費期限の長い缶詰などを日常生活でも消費しながら買い足して一定量の備蓄を確保する方法をローリングストックといいます。
食品以外にもガスボンベやトイレットペーパーにも応用できます。

水害・土砂災害対策

警戒レベルと取るべき避難行動

警戒レベル	町が出す情報	住民が取るべき行動	防災気象情報
警戒レベル 1	—	災害への心構えを高めましょう。 	早期注意情報
警戒レベル 2	—	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 洪水注意報等
警戒レベル 3	高齢者等避難	**避難に時間を要する人（高齢者、障害のある方、乳幼児等）とその支援者**は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報 洪水警報
警戒レベル 4	避難指示	**速やかに避難先へ避難**しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	土砂災害警戒情報
警戒レベル 4 までに必ず避難			
警戒レベル 5	緊急安全確保	既に**災害が発生**している状況です。**命を守るための最善の行動**をとりましょう。	大雨特別警報

雨の降り方、降雨量（1 時間雨量）と災害発生の目安

やや強い雨 「ザーザーと降る」 10 ～ 20 ㎜未満		地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。		この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
強い雨 「どしゃ降り」 20 ～ 30 ㎜未満		土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、またがけ崩れの心配もあります。		側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
激しい雨 「バケツをひっくり返したように降る」 30 ～ 50 ㎜未満		激しい雨。山崩れ、がけ崩れがおこりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備が必要です。		地下街や地下室に雨が流れ込む。マンホールから水が噴出する。多くの災害が発生する。
非常に激しい雨 「滝のように降る」 「ゴーゴーと降り続く」 50 ～ 80 ㎜未満		滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。室内で寝ている人の半数くらいが気付くほど激しい雨です。		山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。
猛烈な雨 「恐怖を感じる降り方」 80mm 以上		息が苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じます。		雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な注意が必要。

立ち退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）

避難の原則は、避難所など危険性のない場所へ早期に移動する「立ち退き避難」です。
ただし、道路の冠水や河川の氾濫、土砂災害など避難するには危険な状況と判断される場合は、近隣の安全な場所（頑丈で2階建て以上の建物や標高の高い場所）や「屋内安全確保」により安全を確保しましょう。

立ち退き避難（水平避難）

危険な場所から指定避難所等の安全な場所に避難すること

注意点 夜間や大雨、強風、避難経路の浸水など周囲の状況により、移動することが逆に危険な場合があるので早めの避難をする。

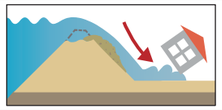
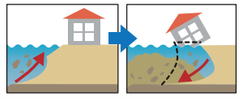
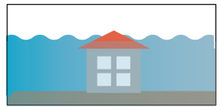
屋内安全確保（垂直避難）

頑丈な建物の2階以上に避難すること

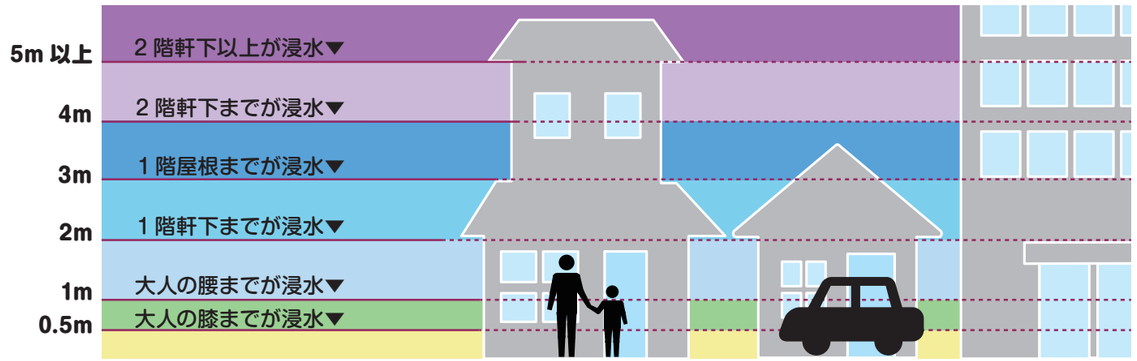
注意点 浸水が長時間継続した場合、取り残されてしまう危険性があるので非常備蓄品や連絡手段なども必要です。

早期の立ち退き避難が必要な区域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸侵食が発生するおそれがある区域は早期の立ち退き避難が必要です。

指定区域の種類		発生する現象と避難行動	
家屋倒壊等氾濫想定区域	氾濫流		堤防決壊などにより流速の早い「氾濫流」が発生するおそれがある区域です。木造家屋は倒壊するおそれがあります。
	河岸侵食		家屋が倒壊するような「河岸侵食」が発生するおそれがある区域です。地面が削られ建物ごと崩落するおそれがあります。
家屋が水没するおそれがある区域			最上階も水没するような浸水のおそれがある区域です。屋内に留まることにより命に危険がおよぶおそれがあります。

浸水の深さの目安



0.5m未満の浸水	0.5m～1.0m未満の浸水	1.0m～2.0m未満の浸水	2.0m以上の浸水
・床下浸水の可能性あり ・水の流れが速いと移動は困難 ・子どもの移動は困難 ・自動車のエンジンが停止する可能性あり ・地下は非常に危険	・床上浸水の可能性あり ・大人も移動は困難 ・自動車のドアが開かなくなる ・停電の可能性あり ・畳が浮く	・1階が水没、移動は不可能 ・車が浮く、流される ・建具が変形し、ガスが停止する等ライフラインが止まる可能性あり	・2階以上まで浸水する可能性あり ・家具や家電が流される ・水流が速い場合、木造家屋倒壊の可能性あり ・マンションやビルの場合、高層階へ移動する

避難のポイント

自宅が安全な場合は留まる

自宅が安全と判断される場合は避難所に行く必要はありません。自宅で情報収集をしながら在宅避難をしましょう。

避難経路に危険箇所が無いか確認する

避難する際は近道を選ばずに、回り道でも安全な避難経路を選択しましょう。ハザードマップの氾濫想定や土砂災害警戒区域を確認しましょう。

避難時の持ち物

非常持出袋は必要最低限にとどめ、両手が使えるように背負って持ち運べるようにしておきます。避難後３日分程度の水と食料は確保しておきましょう。

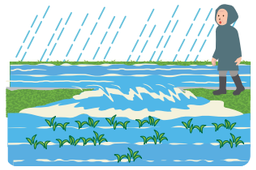
避難時は橋を渡らない

河川の水は急激に増していきます。大変危険なので避難の際は橋を渡らずに避難しましょう。普段水が少ない用水路等にも近づかないようにしましょう。

水平避難できるか状況を把握

家の周囲や避難経路の状況と今後の予想を確認し、避難できる状況かどうかを把握します。夜間や避難経路の浸水具合で垂直避難に切り替えましょう。

田んぼや畑の見回りに行かない

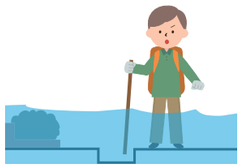


普段歩きなれた道でも浸水によって危険箇所になっている場合があります。田んぼや畑が心配でも近づかないようにしましょう。

避難時の足元

長靴は中に水が入って脱げたり歩きにくくなるので危険です。脱げやすい靴は履かずに、ひものついた運動靴を履いて避難しましょう。

見えない足元に危険が潜んでいる



道路冠水時には、側溝、水路、マンホール（ふたが外れている可能性がある）が見えなくなるので深みや溝を確かめるため長い棒を杖にしながら歩きましょう。

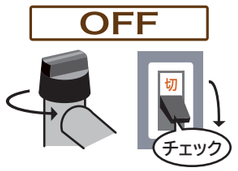
子ども等を安全に避難

はぐれないようにお互いの体をロープで結び、手を握って避難しましょう。特に子どもから目を離さないようにしましょう。

ご近所に声をかけて一緒に避難

単独での避難は思わぬ事態にあった時に危険です。隣近所に声をかけて、助け合いを大切にし、歩行が難しい人は背負って避難しましょう。

ガスの元栓や漏電ブレーカーを切る



後の火災の原因になることがあるので、避難する際はガスの元栓を閉め、漏電ブレーカーも切るようにしましょう。

浸水時の歩行は困難。垂直避難へ

歩ける深さは男性で約70 ㎝、女性で約 50 ㎝。水深が腰まであるようなら無理は禁物です。高所で救助を待ちましょう。

降雨による土砂災害から身を守る

ハザードマップには土砂災害警戒区域も表示されています。
日ごろから危険な区域を確認し、非常時に備えましょう。

２つの警戒区域を知っておく

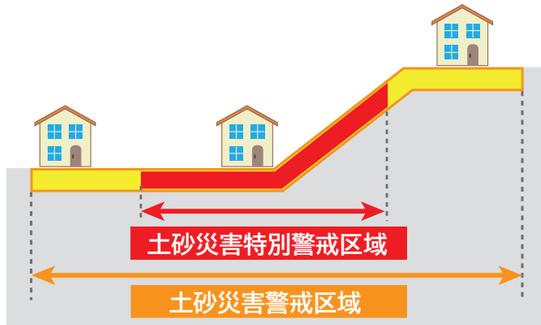
「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」

土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民等の生命・身体に危害が生じるおそれがあると認められた区域

土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」のうち、建物等に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

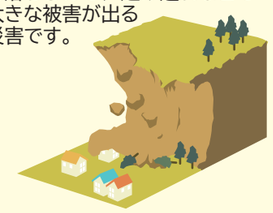


土砂災害の種類と前兆現象

雨が降り続くと地盤が緩むので土砂災害が起こりやすくなります。
次のような前兆現象を確認した場合は早めに避難しましょう。

1 がけ崩れ

地中にしみ込んだ雨水などにより地盤が緩み、弱くなった斜面の土砂が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで大きな被害が出る災害です。



避難のポイント

がけの高さの２倍以上の距離に逃げたり、がけとは反対側の建物内の２階へ避難する。

2 地すべり

斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へゆっくりと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起き、一度に広い範囲にわたって滑り出し、家屋や道路を押しつぶす災害です。

避難のポイント

地すべりは比較的ゆっくりと発生するが、早めに避難する。

3 土石流

長雨や集中豪雨などによって、大量の土砂が水とともに一気に下流へと流れ出し、家屋や道路を押し流す災害です。
速度も速いので、大きな被害をもたらします。

避難のポイント

土石流の場合、渓流からできるだけ離れ、流れとは垂直方向に逃げる。

次のような前兆現象を確認したら、すぐに逃げましょう！

前ぶれに注意しましょう！

- がけから水が湧き出している
- 斜面に段差や亀裂が入る
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる
- がけから小石がバラバラ落ちてくる
- 急に川の水が濁り、流木が混ざっている
- 山鳴りがする
- 腐った土のにおいがする
- 地面にひび割れができる
- 井戸水や沢 、湧き水が濁る
- 樹木が傾く

※ここに紹介した現象が土砂災害発生の全てではなく、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地震対策

地震発生！その時の行動は!?

最初にとる行動

●まずは自分の身を守る
丈夫な机やテーブルの下にもぐり、揺れが収まるのを待ちましょう。

●すばやく火の始末をする
揺れが激しい時には無理をせず、可能であればコンロの火を消しましょう。

●家具や棚から離れる
タンスやテレビが転倒し、負傷しないように離れましょう。

●窓や扉を開けて出口を確保
窓や扉がゆがんで開かなくなることがあるため、窓や扉を開けて出口を確保しましょう。

●あわてて外に飛び出さない
瓦や割れたガラスなどが落ちてきりたするため、あわてて外に飛び出さないようにしましょう。

●門や塀、自動販売機から離れる
門や塀、自動販売機などが倒れてくる危険性があるため、そばから離れましょう。

外出先の場合

●スーパー、デパートなど
バッグや買い物かごなどで頭部を保護し、ショーケースや棚から離れます。
その後、係員の指示に従って行動しましょう。

●電車、バスの中など
姿勢を低くして頭部をカバンなどで保護します。車内アナウンスに従い行動しましょう。

●エレベーターの中
全ての階のボタンを押し、最初に止まった階で降ります。動かない時は非常用連絡ボタンを押しましょう。

●建物の周辺や街中など
窓ガラスが割れたり、街灯などの落下物に注意し、カバンなどで頭部を保護しましょう。

●山や丘陵地など
まずは、落石から身を守りましょう。がけや急傾斜地などには近づかないようにしましょう。

震度と揺れ等の状況

震度4

- ●ほとんどの人が驚く。
- ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ●座りの悪い置物が倒れることがある。

震度5弱

- ●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ●棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強

- ●物につかまらないと歩くことが難しい。
- ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- ●固定していない家具が倒れることがある。
- ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

- ●立っていることが困難になる。
- ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れることもある。

震度6強

- ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる
- ●耐震性の低い木造建物は、倒れるものが多くなる。
- ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりが発生したり、山の一部が大規模崩壊することがある。

震度7

- ●耐震性の低い木造建物は、傾き倒れるものがさらに多くなる。
- ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くものもある。
- ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが多くなる。

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

発生直後

緊急地震速報！

- ●まずは自分の身を守る安全確保（机の下に入る、座布団で頭を保護）

1～2分

揺れがおさまったら

- ●すばやく火の確認（ガスの元栓、コンセント）
- ●家族の安全を確認
- ●屋内でも靴を履く
- ●非常持出袋の用意
- ●家屋の倒壊、土砂災害、ため池・河川の決壊の恐れがある場合はすぐに避難

3分

みんなの無事を確認

- ●隣近所に声をかけ、けが人や行方不明者がいないか確認（災害弱者の安全確保）
- ●余震に注意しながら出火防止と、火災が発生している場合は初期消火（ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを落とす）
- ●ラジオなどから災害情報を入手する

5分～数時間

協力して避難・救護・救出・消火活動

- ●避難時に車を極力使わない
- ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ●水、食料は備えているものでまかなう（3日分は備蓄しておく）

情報と行動の目安

災害の規模が年々甚大化しています。被害を最小限に抑えるために災害時の行動を普段から考えることを心掛けましょう。

気象情報

早期注意情報（警報級の可能性）
警報級の現象が5日先までに予想される場合に発表

大雨注意報
大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想した場合に発表

洪水注意報
河川の上流域での大雨による増水や氾濫により洪水災害が予想された場合に発表

大雨警報
大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想した場合に発表

洪水警報
河川の上流域での大雨による増水や氾濫により重大な洪水災害が予想された場合に発表

記録的短時間大雨情報
大雨警報が発表されている時に数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したことを発表

大雨特別警報
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表

洪水予報

氾濫注意情報
河川が氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合に発表

氾濫警戒情報
一定時間後に河川が氾濫危険水位に到達すると見込まれる場合に発表

氾濫危険情報
氾濫危険水位に到達した場合に発表

氾濫発生情報
氾濫が発生した場合に発表

土砂災害情報

土砂災害警戒情報
命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに都道府県と気象庁が共同で発表

避難情報

高齢者等避難

避難指示

緊急安全確保

住民の皆さんのとるべき行動

- ●最新の気象情報等を入手する。
- ●ハザードマップ等で避難行動を確認。

- ●避難に時間を要する人（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難しましょう。その他の人は避難の準備をしましょう。

- ●速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所等への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

命を守るための最善の行動を取ってください。

※上記に記述している、『高齢者等避難』『避難指示』『緊急安全確保』などの避難情報は、令和3年度からの運用開始予定のため名称が一部変更になる可能性がありますので御注意ください。

指定緊急避難場所・指定避難所（町・県施設）

NO	施設・場所名	連絡先	指定緊急避難場所 収容人数（算定基準2㎡/人）	指定避難所 収容人数（算定基準3.3㎡/人）	対象とする異常な現象の種類			
					洪水又は内水氾濫	がけ崩れ、土石流及び地滑り	地震	大規模な火事
1	新田ふるさと村管理棟	0790−33−0870	48人		○	○	○	○
2	越知谷アクティブセンター及び旧越知谷小学校	0790−34−0001	422人	256人	○	○	○	○
3	神崎体育センター	0790−32−1681	527人	318人	○	○	×	○
4	神崎小学校	0790−32−0025	407人	246人	○	○	○	○
5	神崎高校体育館	0790−32−0209	480人		×	×	○	○
6	神河中学校	0790−34−0030	481人	291人	○	○	○	○
7	寺前小学校	0790−34−0024	332人	201人	○	○	○	○
8	旧南小田小学校体育館	0790−34−0001	210人		○	○	○	○
9	長谷小学校	0790−35−0012	219人	133人	×	×	○	○
10	町民体育館	0790−35−0740	534人	323人	×	×	○	○
11	センター長谷（2階部分のみ）	0790−35−0001	112人	66人	○	○	×	○

指定緊急避難場所（集落施設）

NO	施設・場所名	指定緊急避難場所 収容人数（算定基準2㎡/人）	対象とする異常な現象の種類			
			洪水又は内水氾濫	がけ崩れ、土石流及び地滑り	地震	大規模な火事
1	新田公民館	53人	2階のみ指定	2階のみ指定	×	○
2	作畑秀峰館	58人	○	○	○	○
3	作畑観音堂	12人	×	×	×	○
4	大畑コミュニティーセンター	102人	×	×	×	○
5	越知公民館	60人	○	○	○	○
6	岩屋公民館	70人	×	×	○	○
7	根宇野公民館	168人	×	×	×	○
8	山田区新生館	108人	○	○	○	○
9	中村ドリームホール	205人	○	○	○	○
10	粟賀町公民館	123人	×	○	×	○
11	福本揚羽ホール	213人	×	×	○	○
12	貝野公民館	46人	×	○	○	○
13	寺野公民館	87人	2階のみ指定	○	○	○
14	柏尾ふれあい館	55人	×	×	○	○
15	加納営農センター	50人	○	○	○	○
16	東柏尾集落センター	72人	×	×	○	○
17	吉冨集落センター	88人	○	○	○	○
18	天理教神崎大教会	129人	○	○	×	○
19	杉営農センター	76人	×	×	○	○
20	天理教神大分教会	245人	○	2階のみ指定	現神殿建物のみ指定	○
21	大山なかよし会館	83人	×	○	○	○
22	猪篠集落センター	87人	×	×	×	○

NO	施設・場所名	指定緊急避難場所 収容人数（算定基準2㎡/人）	対象とする異常な現象の種類			
			洪水又は内水氾濫	がけ崩れ、土石流及び地滑り	地震	大規模な火事
23	新野公民館	55人	×	×	○	○
24	野村集会所	76人	○	○	○	○
25	野村多目的集会所	102人	2階のみ指定	○	○	○
26	比延ふれあい集会所	20人	○	○	○	○
27	比延公民館	36人	×	×	○	○
28	地域交流館（寺前）	84人	○	○	○	○
29	鍛冶中央集会所	64人	×	×	○	○
30	大河構造改善センター	68人	×	×	○	○
31	上岩憩いの館	14人	○	○	○	○
32	上岩多目的集会所	40人	○	○	○	○
33	高朝田集落農事集会所	57人	○	○	○	○
34	宮野公民館	85人	×	×	○	○
35	南小田農村環境改善センター	83人	○	○	○	○
36	上小田活動促進センター	58人	×	×	○	○
37	川上文化会館	76人	○	2階のみ指定	○	○
38	大川原集会所	50人	×	×	○	○
39	本村公民館	78人	×	×	○	○
40	赤田多目的集会所	16人	×	×	○	○
41	重行集会所	20人	×	×	○	○
42	為信公民館	15人	○	○	○	○
43	峠公民館	31人	○	○	○	○
44	栗区公民館	41人	2階のみ指定	○	○	○
45	渕公民館	30人	×	×	○	○

福祉避難所

NO	避難所名称	受入人数	施設種類	電話番号
1	特別養護老人ホームうぐいす荘	10 人	高齢者	0790−32−2257
2	特別養護老人ホームあやめ苑	10 人	高齢者	0790−34−1800
3	アキタケメディカル「さくら」介護センター	5人	高齢者	0790−32−3690
4	介護老人保健施設かみかわ	5人	高齢者	0790−31−3880
5	Resort によん in かみかわ	5人	高齢者	0790−34−1824
6	公立神崎総合病院	10 人	病弱者、乳児及び妊産婦	0790−32−1331

インターネットの活用

停電の際など、携帯電話やスマートフォンから情報を得ることができます。

神河町ホームページ

http://www.town.kamikawa.hyogo.jp/

神河町の緊急・防災情報や避難所の開設状況を確認できます。

神河町防災気象情報

https://kamikawa-town.bosai.info/ui/dashboard

気象情報、防災マップ、防災情報などが閲覧できます。

防災ネットかみかわ

http://bosai.net/kamikawa/

登録された方に気象警報、地震情報、緊急情報を発信する「防災ネットかみかわ」を運用しています。メール登録すると

- ●緊急気象情報
- ●緊急情報
- ●お知らせ情報

をメールで配信します。